

## 〈中学部〉

### 〈学部研究テーマ〉

#### 十人十色の主体性を引き出す授業づくり

#### ～1 単元 4 回以上の授業実践における PDCA サイクルの充実をとおして～

### ア テーマ設定の理由

- (1) 中学部運営計画にかかる重点項目の合同授業における PDCA サイクルによる授業改善をより充実させるため。
- (2) 生徒一人ひとりが自分の持っている力を発揮して満足感や充実感のある授業づくりを目指すにあたり、授業作りのイメージや具体的な目標設定を教科担当者全員が共有できるようにするため。
- (3) 単元あたりの回数を数値化することで、年間指導計画をより具体的かつ系統的、発展的に立案できるようにするため。
- (4) 毎授業後に ACTION シートを記入し、それを活用して授業改善につなげていくためには、1 単元あたりの授業回数を確保する必要性が明確になったため。

### イ 研究計画

月	内 容		
4 月	第 1 回全校研究会 ACTION シートを活用した授業実践		
5 月	2 年次の方針確認、ACTION シートの様式検討		
6 月	ACTION シートの「目標」「評価」について検討		
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月	学部研究授業（体育）・授業研究会		
12 月			
1 月	2 年次のまとめ	↓	↓
2 月	第 2 回全校研究会		
3 月	次年度の音楽・体育の年間指導計画の立案		

### ウ 実践内容

1 年次から継続し、全体授業の音楽と体育で授業実践を行った。それぞれ昨年度末に立案した年間指導計画に沿って、1 単元 4 回以上の授業実践を継続した。1 単元を 1 サイクルとした PDCA サイクルを行い、主体性を引き出す授業づくりに向けた授業改善を図った。その中で ACTION シートを活用し、主体性を表す姿（中学部では「自分から、自分で」の姿）を中心とした授業での様子や一人一人の目標とその評価などを記録し、授業ごとに Do と Check を繰り返した。記録後は、情報を共有したり、次時の授業や単元の改善に活用したりできるように、担当者間で回覧し、内容の確認を行った。

#### 【開かれた授業研究会】体育 単元名「必殺シュートでゴールを決めよう」（フットサル）

体育の授業を対象に開かれた授業研究会を行った。当日は、全 6 回のうちの 4 回目の授業で、生徒は見通しをもち自分から行動したり、できるようになった嬉しさを感じたりしていた。教師側においても、1 回目の授業で実態把握、2 回目以降から ACTION シートの記

録を活用し、一人一人に合った目標や支援内容を検討、実施することができた。

授業研究会では、「生徒が『一人でできた』という実感がもてる程よい支援だった」、「繰り返しの取り組みが生徒の自信や見通しに繋がっている」等の意見が出された。また、ACTION シートの活用については、「記録を書きためることで教師も振り返りができる」、「Do と Check が多く授業改善に活かされている」、「職員の負担が多い」などの意見が出された。



## エ 成果と課題

### (ア) 成果

- ・1 単元 4 回以上の授業実践は、教師、生徒、共に有効である。

授業の回数を重ねることで、できるようになる嬉しさを感じたり、徐々に自信がついたり、自分で判断し行動しようとする様子が見られたりした。また、教師側は、1 回目は生徒の実態把握、2 回目以降は支援の工夫や授業改善をする時間が確保でき、授業改善に繋がった。

- ・ACTION シートの記録が活用され、授業改善を図ることができた。

毎授業後に一人一人の目標の評価、授業の様子を記録することで、職員の振り返りになり、実態の変化に気付くことができた。また、職員間で生徒の様子や授業全体をとおした職員の気付きが共有でき、授業改善を図る際の手段として役立つことが分かった。

### (イ) 課題

- ・4 回以上の授業実践を図る工夫をする。

昨年度、学部行事を整理し、年度末に次年度の年間指導計画を立案したことで、音楽も体育も1 年次よりは1 単元あたりの授業時数を確保することができたが、体育においては学習指導要領に示された内容すべてに取り組むと、全単元で4 回以上の授業を確保することは難しかった。授業時数を確保するため他授業を調整したり、生徒の実態に合わせ、行う単元を精選したりするなどの工夫が必要である。

- ・より取り組みやすい PDCA サイクルの検討・工夫をする。

授業改善に向けて有効に活用できる ACTION シートの工夫やこれまでの実践が今後の指標となるように目標と主体性を表すキーワードのリストを活用できるようにする。

## オ 次年度に向けて

3 年次も合同授業である音楽と体育で継続して授業実践を行い、その際、ACTION シートを活用し、主体性を引き出す授業づくりに向けて授業改善を図る。また、2 年次で出てきた課題点を踏まえ、3 年次では ACTION シートの改善、目標のリストや主体性を表すキーワードのリストの作成、活用を行っていく。十人十色の主体性を引き出す授業づくりに向け、さらに取り組みややすく、効果的な方法を模索していく。

生徒名 <sup>①</sup>	個人目標 <sup>②</sup>	評価 (A~E) <sup>③</sup>	生徒の様子、教師の支援、振り返り <sup>④</sup>
(T3) <sup>⑤</sup>	(シュート) III 段階 動いているボールを力強くシュートすることができる。 <sup>⑥</sup> (ドリブル) III 段階 細かいタッチでジグザグドリブルをすることができる。 <sup>⑦</sup> III 段階 選択した必殺シュートの理由を伝えることができ、成果発表では、自分で判断しながら行い、ゴールを決めることができる。 <sup>⑧</sup> II 段階 簡単なルールを守り、友達と協力したり、競い合ったりし、意欲的にフットサルを楽しむことができる。 <sup>⑨</sup>	C <sup>⑩</sup> B <sup>⑪</sup> B <sup>⑫</sup> C <sup>⑬</sup>	・成果発表では、緊張や自信のなさからか手を上げずに1 番最後に行ったが、選択したストップドリブルシュートを1 回でゴールを決めてとても嬉しいようにしていた。 <sup>⑭</sup> ・日頃の活動からも発表場面でも、本人のタイミングで行った方が、力を発揮できるため、筆手制が有効であった。 <sup>⑮</sup> ・さん自身前での発表は嫌いではなさそうである。 <sup>⑯</sup> ・ワンツーシュートを選択し、理由を得意だからと伝えることができた。 <sup>⑰</sup>

【具体的に記入する!!】  
 ・どんなアプローチをしたらできるようになったのか、その時の様子<sup>①</sup>  
 ・〇回繰り返しただらできるようになった等<sup>②</sup>  
 ・生徒から出た言葉(振り返り時の言葉など)<sup>③</sup>  
 ・「自分から、自分で」にあたる行動や発言等<sup>④</sup>

A...よくできる(自分から、自分で)<sup>⑤</sup>  
 B...だいたいできる(自分から、自分で)<sup>⑥</sup>  
 C...声掛けがあればできる<sup>⑦</sup>  
 D...教師と一緒にできる<sup>⑧</sup>  
 E...できない、難しい<sup>⑨</sup>